

2024 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	末内啓子
演習テーマ	国際政治学を生活者の視点から考えてみよう
校外実習	実施しない
メール・アドレス	stmbssue@ed.meijigakuin.ac.jp 明治学院大学のメール・アカウントから発信すること。できるだけオフィス・アワーを利用すること。
オフィス・アワー	月、木 昼休み
2025 年度に開講しない可能性 (在外研究・特別研究)	なし
授業概要	国際政治の行為体を広義に設定し、従来の国家、政策決定者に加えて生活者の視点からも国際政治を考察する。毎回、国際政治関連トピックへの関心を順番に発表し、討論する。テキストを利用して、レジュメづくり、発表と討論。資料探し、先行研究の分析、リサーチ・クエスチョンを検討する。
学習目標	国際政治の議論に慣れ、関心を広げて、深めながら、「卒業論文」のテーマ決定と先行研究へのとりくみを開始する。国際政治を複数の視点から考察する。今国際政治を考える意味を模索する 4 年次の演習と「卒業論文」への準備を開始する。
授業計画	<p>&lt;演習 2A&gt;</p> <p>第 1 回 イン트로ダクション（授業の説明、学生の自己紹介）</p> <p>第 2 回 国際政治と行為体</p> <p>第 3-10 回 時事的トピックについて発表と討論、テキストを利用して討論</p> <p>第 11-14 回 発表と討論</p> <p>第 15 回 まとめと「演習 2B」について</p> <p>&lt;演習 2B&gt;</p> <p>第 1 回 イン트로ダクション（授業の説明）</p> <p>第 2 回 国際政治関連の関心の変化と広がり</p> <p>第 3 回 国際政治の分析視角について、先行研究とは</p> <p>第 4 回 統計資料の使い方</p> <p>第 5 回 学生の発表、レポートについて</p> <p>第 6 回-第 9 回 テキストを利用して討論</p> <p>第 10 回-第 13 回 学生の発表と討論</p> <p>第 14 回 「演習 3A」、「演習 3B」、「卒業論文」について</p> <p>第 15 回 まとめ</p>
予習	授業開始時に配布するアウトラインに基づき、準備。テキストを読み、ノートを取り、授業参加の準備をすること。
復習	授業のふりかえりと、予習の準備
授業に関する注意事項	出席を前提として、授業を進行する。発表にはレジュメを用意すること。
教科書	滝田賢治、大芝亮、都留康子共編『国際関係学 第三版 補訂版』有信堂、2023 年。明治学院大学教養教育センター『アカデミック・ライティング・ハンドブック』。
参考書	
成績評価の基準	授業参加（発表、討論など）50%、レポート 50%
関連 URL	
備考	